令和７年度
筑波大学基金活動及び実績報告

国立大学法人筑波大学
事業・リレーション推進室

令和 7 年度　活動の概要

筑波大学基金の設置から 16 年目にあたる令和 7 年度は、本学の更なる発展と社会的役割を十分に果たすため、筑波大学のネットワークを活かした幅広いステークホルダーとの連携を強化しつつ、多様なプログラムを通じて寄附募集活動を展開しました。

令和 7 年度は、遺贈によって 1 億円のご寄附を頂戴するなどの成果を上げることができました。クラウドファンディング型寄附としては、デジタルネイチャー研究室の学生が企画した「10 周年展覧会プロジェクト」により約 650 万円を、「触覚芸術の保存・活用」を目的とした資金約 240 万円を集めるなど、学生及び研究者の主体的な活動を支援する体制を構築しました。さらに「科学の芽」賞の創設 20 周年により約 210 万円を、令和 4 年度に行っていた「名器ブーシェの再現」の延長企画で約 50 万円を集めました。令和 7 年度は計 4 件のクラウドファンディング型寄附で約 1,170 万円を頂戴しました。

学内施設の命名を目的とした寄附では、未来構想基金（旧一般基金）に対する寄附の謝意として第 2 食堂に「Sky CENTER TERRACE」と名称を付与したほか、スポーツ基金に対する寄附の謝意として第一サッカー場に「フカガワみらいフィールド」と名称付与しました。また、附属病院に対する寄附では、ファシリティドッグの導入を目的とした支援として、総額 2,130 万円（令和 8 年 5 月成立のクラウドファンディング分を除く）のご寄附を頂戴しました。

また、卒業生と現役生の新たな交流の場として「KUTTUKUba」を筑波大学東京キャンパスにて開催しました。第一回は起業をテーマに、現役学生起業家と OB・OG の起業家、経営者ら 100 名を超える方々が交流を深めました。

今後も、教育・研究・社会貢献の各分野において多様な資金ニーズに対応すべく、ステークホルダーの皆様との信頼関係を基盤に基金運営を推進してまいります。

令和 7 年度筑波大学基金　活動報告

■　クラウドファンディング

本学は Ready for 社と提携してクラウドファンディングを展開しており、令和 7 年度は 4 件実施しました。

○　筑波大学デジタルネイチャー研究室：10 周年展覧会プロジェクト
（落合 陽一 教授(図書館情報メディア系)）



落合 陽一 教授は、計算機自然、デジタルネイチャーという単なる自然界のデジタル再現ではなく境界を越えた思想実験に取り組んでいます。デジタルネイチャーグループの 10 周年の研究成果を発信する展覧会費用のため、学生が企画し、クラウドファンディングを通じて広く社会から寄附を募りました。

寄附額： 6,495,000 円（令和 7 年 4 月）/ 目標金額 5,000,000 円　達成率：約 130%

○　ギターの音色の起源を解明したい
（関場 大一郎 講師(数理物質系)）



関場 大一郎 講師は、イオンビーム分析という手法でナノテク材料の計測を行っています。
楽器の物理学的特性と共に　聴衆の主観を研究するため、撥弦装置開発とホログラフィー装置を用いたギター振動の可視化の研究費用の一部について、クラウドファンディングを通じて広く社会から寄附を募りました。

寄附額：　535,000 円（令和 7 年 5 月）/　目標金額 300,000 円　達成率：約 178%

○　**掌の中の宇宙 ―『触覚芸術史の記憶』を明日の視覚特別支援学校に**
（宮坂 慎司 准教授(芸術系)）



宮坂 慎司 准教授は、触覚を通した「触れる鑑賞」について研究を行っています。触覚研究は国内に多くの実践が蓄積されており、そのなかで生まれた大切な作品群を守り、活かしていくために保護や公開・資料化、次世代の提案についてクラウドファンディングを通じて広く社会から寄附を募りました。

寄附額：　2,386,000 円（令和 7 年 7 月）/　目標金額 2,000,000 円　達成率：約 119%

○　**「科学の芽」賞と子どもたちの「好き」を一緒に応援しませんか？**
（「科学の芽」賞実行員会）



「科学の芽」賞は、本学ゆかりのノーベル物理学賞受賞者・朝永振一郎博士の生誕 100 年を記念して、2006 年に創設された全国規模の科学コンクールです。子どもたちが日常生活や自然に触れた際に感じる「ふしぎだと思うこと」から始まる研究を大切にしています。科学の道を志す次世代の可能性を広げるためにクラウドファンディングを通じて広く社会から寄附を募りました。

寄附額：　2,310,000 円（令和 7 年 11 月）/　目標金額 1,000,000 円　達成率：231%

■　第 2 食堂を Sky CENTER TERRACE と命名

Sky 株式会社様より、寄附として教育研究環境充実のために継続的な支援を受けることに対する筑波大学からの謝意として「Sky CENTER TERRACE」と命名されました。





■　第 1 サッカー場をフカガワみらいフィールドと命名

株式会社フカガワ様より、寄附として固定化した社会の価値観を打破する本学の教育理念に共感いただき、教育・スポーツ環境の整備のための支援を受けることに対する筑波大学からの謝意として「フカガワみらいフィールド」と命名されました。





■　フューチャーシップシートプロジェクト（FSP : Futureship Seat Project）

令和 3 年 10 月から本学キャンパス内のバス停ベンチのリニューアルに伴い、寄附者の氏名とメッセージの入ったプレートを取り付けたベンチ（Futureship Seat）を設置するプロジェクトを開始しました。真の総合大学の実現に取り組む本学において、学生とステークホルダーの皆様がより密に結ばれることを目的としています。



販売価格	1,510,000 円／1 脚
設置場所・脚数	3 か所、43 脚（新設除く）
令和 4 年度入金額	12,080,000 円（8 脚）
令和 5 年度入金額	16,610,000 円（11 脚）
令和 6 年度入金額	5,540,000 円（3 脚と分割分）
令和 7 年度入金額	500,000 円（1 脚分割分）

令和７年度寄附受入・支援等状況

■　令和７年度寄附受入実績

集計期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

○　現金による寄附　　394,920,329円　　8,313件

区　分	寄附額（単位：円）		件数	
	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度
未来構想基金（旧一般基金） 支援１．教育・人材育成 支援２．国際交流 支援３．学術研究 支援４．地域貢献 指定無し 使途特定 世界を変えよう基金（MDW基金）…**※1** 附属学校…**※2**	225,376,696	627,329,578	4,728	4,691
特定基金				
創基151年筑波大学50周年記念基金	5,015,000	13,053,000	3	143
フューチャーシップシートプロジェクト	500,000	5,540,000	1	5
スポーツ基金／Sport Complex for Tomorrowの整備	82,902,055	55,017,270	2,053	552
附属病院基金／ファシリティドッグ基金	37,606,000	49,473,500	126	60
附属学校ぽろーにあ基金	10,847,134	-	230	-
紫峰会基金	24,038,000	22,455,000	853	796
留学生後援会基金	1,108,000	669,000	180	36
修学支援事業基金（「今川FUTURE基金」を含む…**※3**）	6,647,000	21,051,000	105	78
研究者の卵サポート基金	751,000	370,000	32	25
現物資産活用基金…**※4**	129,444	105,248	2	2
合計	**394,920,329**	**795,063,596**	**8,313**	**6,388**

※1…「世界を変えよう基金」は、一般基金への寄附金として受け入れた資金を「筑波大学『世界を変えよう基金』（MDW基金）運営要項」に基づき運用しています。

※2… これまで一般基金の使途特定で寄附を受付していた附属学校への寄附は、令和８年１月より特定基金の「附属学校ぽろーにあ基金」にて計上しています。

※3…「今川FUTURE基金」は、修学支援事業基金への寄附金として受け入れた資金を「筑波大学学生奨学金制度つくばスカラシップに関する要項」に基づき運用しています。

※4… 現物資産活用基金は、有価証券（R1.12.18寄附受け）の配当金です。

■　令和７年度　未来構想基金からの支援・支出状況等

○　使途特定分を除く未来構想基金からの支援

（単位：円）

事項	計画額	執行額
学園祭	1,500,000	1,499,842
宿舎祭（ヤドカリ祭）	300,000	600,000
スポーツ・デー	500,000	500,000
つくばスカラシップ	300,000	277,346
附属学校教育局支援	4,250,000	3,850,000
計	6,850,000	6,727,188

○　受入れた基金の拠出金からの支出

（単位：円）

事項	計画額	執行額
人件費	20,000,000	8,437,178
渉外活動費	2,500,000	617,529
管理運営費（※）	7,000,000	5,277,896
計	29,500,000	14,332,603

（※）システム利用料、収納代行料、税理士顧問料、印刷製本費、通信運搬費等

○　未来構想基金で受入れた、寄附者の意向に基づく使途特定寄附金からの支援

支援事項	支援実績額（単位：円）
国際統合睡眠医科学研究機構支援	39,500
ピアノ愛好会支援	60,000
プラズマ研究センター支援	10,000
法科大学院支援	405,000
つくば植物機能イノベーション研究開発センター（T-PIRC）支援	192,624
医学系電子顕微鏡室支援	100,000
山岳科学センター支援	5,000,000
研究支援（数理物質系）	178,000
研究支援（体育・芸術系）	1,318,000
研究支援（生命環境系）	241,201
研究支援（人間系）	5,080,000
研究支援（数学系）	60,000
研究支援（理工情報生命系）	250,000
ホームカミングデー支援	300,000
ウクライナ支援	20,000
附属学校科学の芽賞…※	540,000
附属学校インクルーシブ教育…※	96,000
附属小学校支援…※	19,692,402
附属中学校支援…※	1,132,000
附属高等学校支援…※	761,000
附属駒場中・高支援…※	36,885,532
附属坂戸高等学校支援…※	12,900,000
附属視覚特別支援学校支援…※	2, 966,000
附属大塚特別支援学校支援…※	1,330,000

附属桐が丘特別支援学校支援…※	117,000
附属久里浜特別支援学校支援…※	16,000
CF ギターの音色の起源を解明したい	535,000
CF 掌の中の宇宙	2,386,000
CF 筑波大学デジタルネイチャー研究室	6,495,000
執行額計	99,106,259

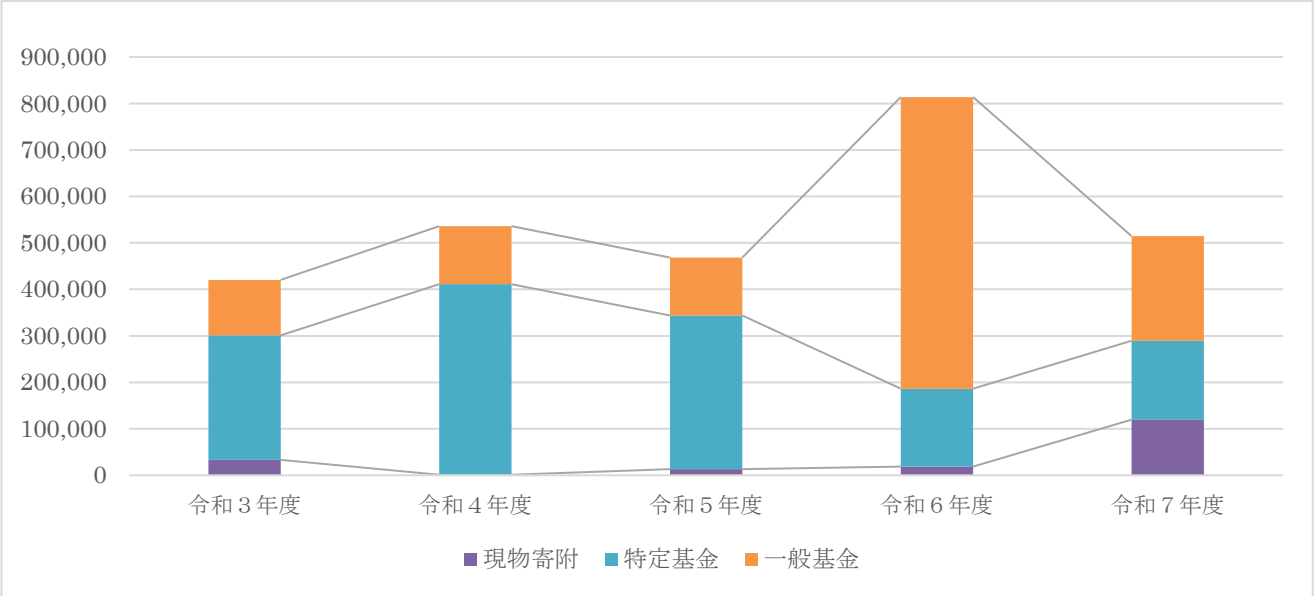
※…表示の実績額は 4 月~12 月までの未来構想基金の使途特定で計上したものであり、1 月~3 月分は特定基金の附属学校ぽろーにあ基金で別途計上しております。

○　「世界を変えよう基金」からの支援

支援事項	支援実績額（単位：円）
社会・文化貢献事業支援	20,000
大学附属図書館図書購入支援	107,617
ボランティア活動支援	300,000
鈴木奨学金	810,000
学群グローバル科目「地球規模課題へのアプローチ」への支援	120,000
執行額計	1,357,617

■現物寄附　　1 件　　金地金（評価額 119,640,000 円）

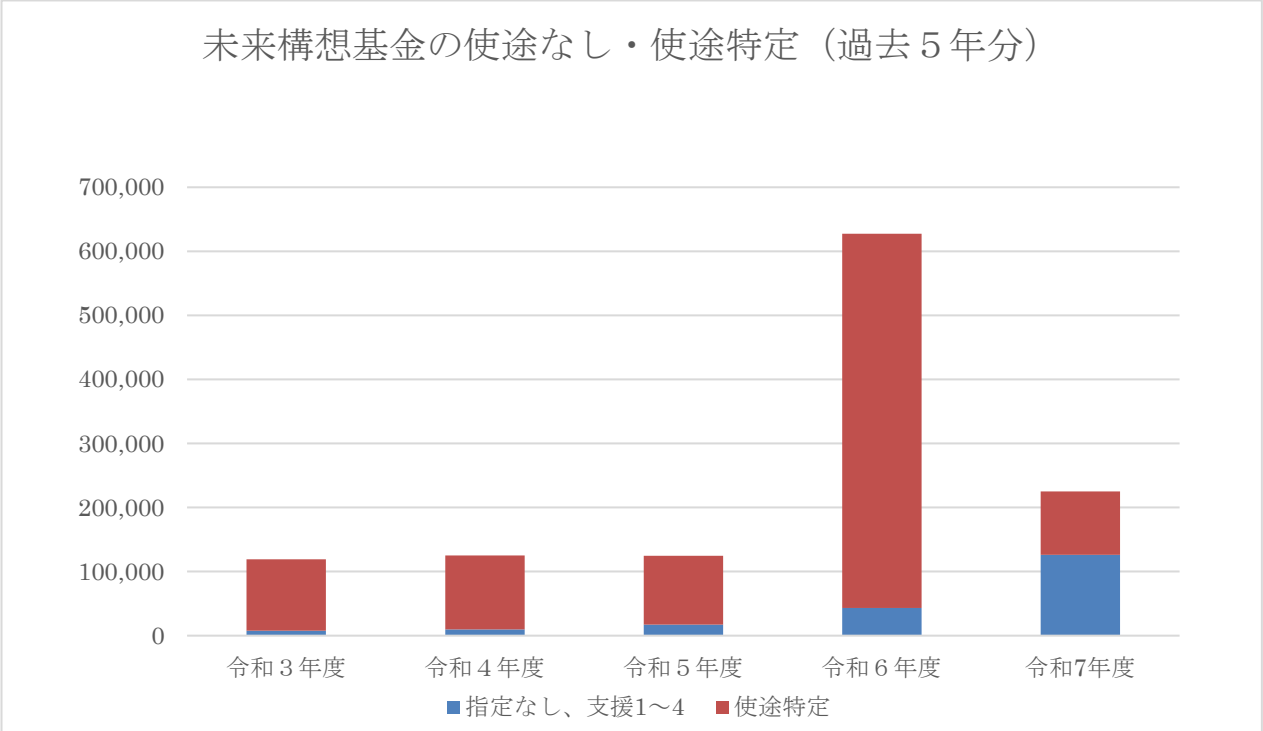
■年度別寄附額（過去 5 年分）



（千円）

各基金	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和7年度
一般基金	119,199	124,967	124,826	627,330	225,377
特定基金	268,203	409,980	330,367	167,734	169,544
現物寄附	33,104	1,200	13,519	18,700	119,640
合計	420,507	536,147	468,711	813,764	514,560

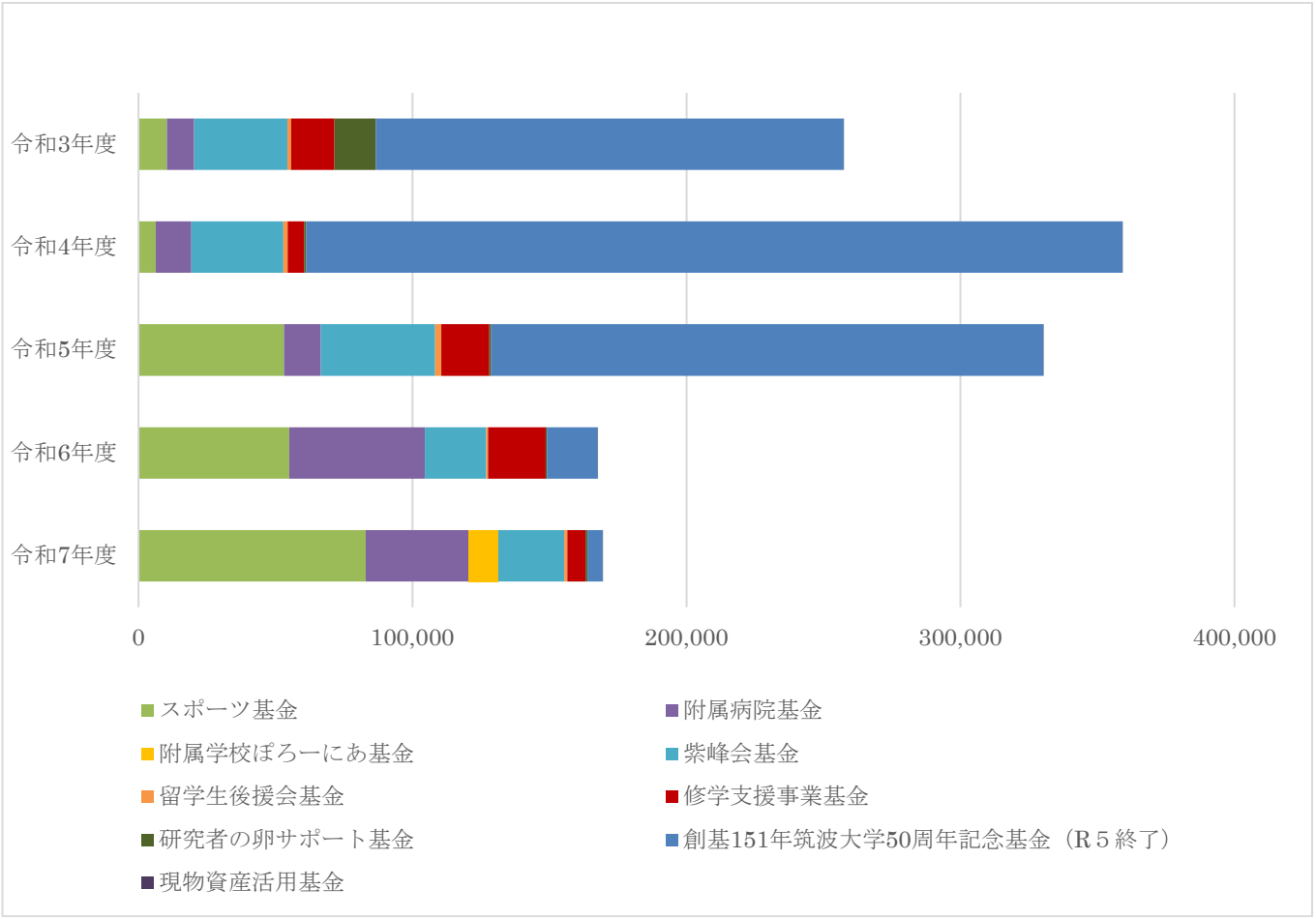
○　未来構想基金年度別寄附額（過去５年分）



（千円）

寄附目的	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
指定なし、支援 1～4	7,515	9,916	17,114	43,402	126,270
使途特定	111,684	115,051	107,811	583,928	99,106
合計	119,199	124,967	124,926	627,330	225,377

○　特定基金年度別寄附額（過去５年分）



（千円）

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
スポーツ基金	10,390	6,349	53,067	55,017	82,902
附属病院基金	9,879	12,966	13,530	49,474	37,606
附属学校ぽろーにあ基金	-	-	-	-	10,847
紫峰会基金	34,020	33,608	41,710	22,455	24,038
留学生後援会基金	1,405	1,533	2,208	669	1,108
修学支援事業基金	15,804	6,009	17,473	21,051	6,647
研究者の卵サポート基金	15,147	745	765	370	751
創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金※	170,670	297,879	201,509	12,815	5,515
現物資産活用基金	16	14	105	105	129

※「創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金」には、「サッカー場（旧第１サッカー場）の改修」・「陸上競技場の改修」プロジェクト、FSP も含みます。

○　預金利息

（単位：円）

行　　名	普通預金利息
三井住友銀行　つくば支店	48,286
三菱 UFJ 銀行　本店	82,294
常陽銀行　研究学園都市支店	46,708
筑波銀行　つくば営業部	8,735
合　　計	186,023

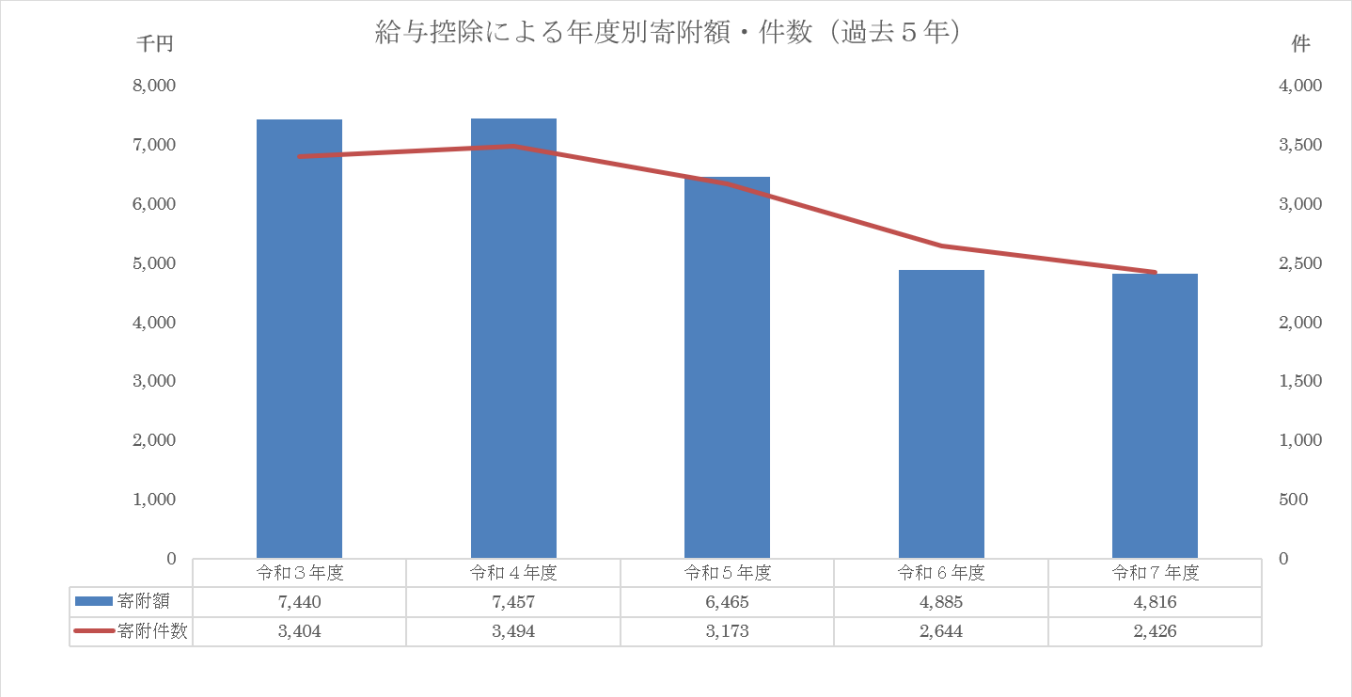
○　教職員からの給与控除による寄附実績

件数　延べ　　2,426 件

寄附額　計 4,816,100 円

職種	登録者数
役員等	10
教員	75
事務職員・技術職員（非常勤職員を含む）	112
附属病院看護師	3
附属学校教員等	11
合計	211

※令和 7 年度 3 月末日時点のデータ



■　収益事業等

○　筑波大学オリジナルボルドーワイン事業

ボルドー大学との Campus-in-Campus（CiC）協定締結を記念し、平成 27 年度から同大学の関連シャトーで醸造しているワインの輸入販売を行っています。

令和 7 年度は新たに 2019 年ヴィンテージを輸入し、株式会社カクヤスのオンラインショップ及び株式会社カスミの筑波大学店・プルシェつくばキュート店の 2 店舗にて販売を行いました。また、大学公式グッズをオンラインで販売するサイト（TSUKUBA－SHOP）への掲載を予定しています。

販売商品

商品名	販売本数	参考価格
シャトー・クーアン ルージュ（赤）2019（750ml）	188 本	4,690 円（税込）
シャトー・クーアン ブラン（白）2018（750ml）	16 本	4,690 円（税込）
シャトー・クーアン ブラン（白）2019（750ml）	112 本	5,480 円（税込）

売上額　1,550,708 円（税込）（令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月）

販売会社　株式会社カクヤス及び株式会社カスミ

○　筑波大学オリジナルコーヒー事業

本学のグローバル戦略及び世界展開事業の一環として、平成 27 年 4 月にサンパウロオフィスを開設するとともに、サンパウロ大学、サンタ・クルス病院と協定を締結しました。その記念として、サンタ・クルス病院の理事長が所有する農園のコーヒーを輸入し、株式会社サザコーヒー（本社：茨城県ひたちなか市）と提携し、平成 28 年度から販売を開始しました。

なお、売り上げの一部を筑波大学基金にご寄附いただくこととしています。

販売商品

商品名	販売価格
筑波大学アリアンサエステートコーヒー　カップオン（単品）	250 円（税込）
筑波大学アリアンサエステートコーヒー　カップオン（5 パック）	1,200 円（税込）
つくばサイエンスブレンド　カップオン（単品）	270 円（税込）
つくばサイエンスブレンド　カップオン（5 パック）	1,350 円（税込）
筑波大おいしいかすてら	1,500 円（税込）
ビーガンカレー	950 円（税込）

売上額　6,094,140 円（税込）（令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月）

販売会社　株式会社サザコーヒー

寄附額　令和 7 年度売上分に対し　1,004,118 円（販売価格の 20%）

※筑波大学おいしいかすてら、ビーガンカレーは 10%

〇　お菓子プロジェクト①「つくば茶寮」「ロケットクレープ」

地元企業と連携し、本学の研究成果等と県内の食材を利用したお菓子作りを通じて社会的価値へと変換していくことを目的として、洋菓子店のコート・ダジュール（つくば市）、野口熊太郎茶園（茨城県境町）及び本学健幸イノベーション開発研究センター（当時）の 3 者で協業し、「つくば茶寮」の製造・販売を行いました。

また、令和 6 年度はつくば市の協力のもと、新たに「ロケットクレープ」の開発を行い、茨城県のご当地グルメを決める「シン・いばらきメシ総選挙」スイーツ部門にエントリーしました。

「つくば茶寮」

販売価格　ばら売り 167 円　3 個入り 600 円　5 個入り 1,000 円（各税込）
売上額　4,715,461 円（税込）（令和 6 年 8 月～令和 7 年 7 月）
寄附額　令和 7 年度　215,539 円（小売り:売上額の 5%、卸売り: 売上額の 2%）

「ロケットクレープ」

販売価格　741 円（税抜）
売上額　2,753,556 円（税抜）（令和 6 年 10 月～令和 7 年 7 月）
寄附額　令和 7 年度　137,677 円（税抜）

〇　お菓子プロジェクト②「FUTURE SENBEI 一筋」

つくば機能植物イノベーション研究センター（T-PIRC）で生産した米を原材料に県内の米菓製造業者の椎名米菓（取手市）と協業し、「FUTURE SENBEI 一筋」（醤油、砂糖、にんにく醤油各 2 枚 合計 6 枚入り）及び、・「FUTURE SENBEI きらめき」シリーズ（玉露、のりしお、コーヒー、カレー、味噌ピーナッツ）の製造・販売を行いました。

販売価格　600 円 or 700 円　（税込）
販売店舗　椎名米菓、大学公式オリジナルグッズショップ、カスミ一部店舗にて販売
売上額　1,398,400 円（税込）（令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月）
寄附額　令和 7 年度　139,840 円（売上額の 10%）

〇　お菓子プロジェクト③「つくば大学芋」

令和 6 年度より、つくば機能植物イノベーション研究センター（T-PIRC）が国分関信越株式会社及び株式会社カスミと連携し、同センター農場で収穫された「規格外さつまいも」を活用した大学芋の製造・販売を実施しました。本取り組みは、規格外品の有効活用による食品ロスの削減に貢献するとともに、地域社会と大学が連携する新たなモデルの構築を目指したものです。また、商品の売上の一部は筑波大学基金に寄附され、学生支援や研究支援など教育研究活動の充実に役立てます。

販売価格　298 円(税抜)
販売数　5,411 個
寄附実績　令和 7 年度　80,624 円(売上額の 5%)

〇　お菓子プロジェクト④「cho come」

令和７年度より、つくば機能植物イノベーション研究センター（T-PIRC）で生産した米を原材料に、県内のチョコレート製造業者の株式会社セイワ食品（筑西市）と協業し、「cho come」（クランチチョコレート）の製造・販売を実施しました。

販売価格　900 円(税抜)
販売数　1,901 個
売上額　1,295,600 円（税込）（令和 7 年 8 月～令和 8 年 3 月）

〇　筑波大学公式オリジナルグッズ販売事業

株式会社デューク・コーポレーションと筑波大学公式オリジナルグッズの販売及び店舗運営委託契約を締結し、令和４年２月からオフィシャルオンラインストア「TSUKUBA-SHOP」を開設し、公式グッズの販売を開始しました。なお、筑波大学公式オリジナルグッズの全売上の 10%を販売ロイヤリティとして、本学へ納入されることとなっています。令和５年度から、入学式・卒業式や留学生向けのイベントなどを開催する際に併せて、対面でのグッズ販売を本格化したことによって前年比 100%以上となりました。

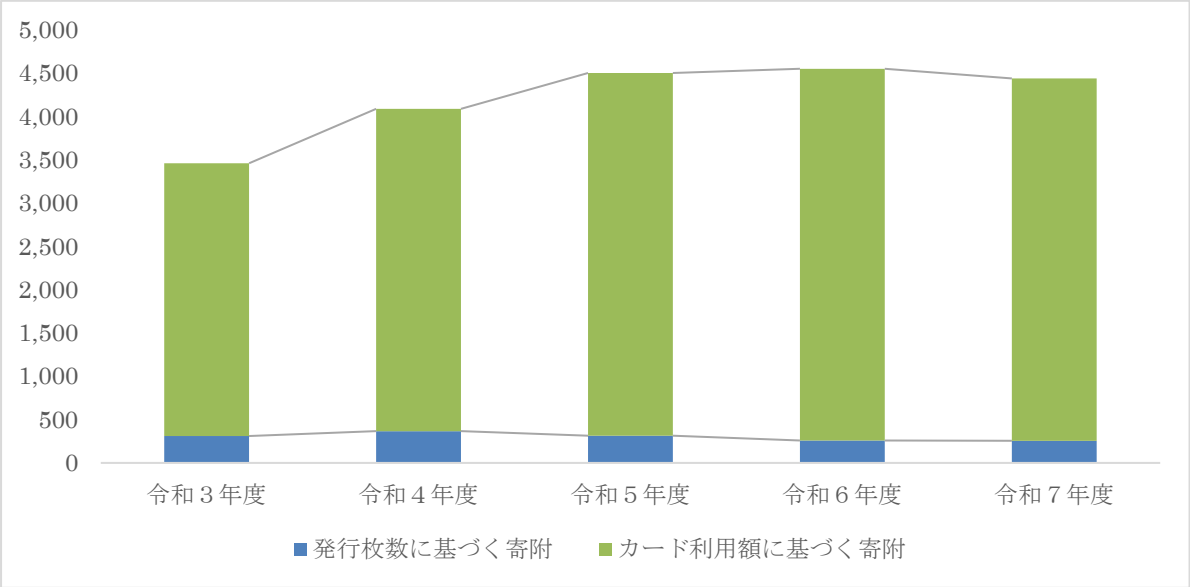
販売ロイヤリティ額　令和 7 年度売上分に対し　2,940,339 円

○　筑波大学カード事業

三井住友カード株式会社と提携契約を締結の上、平成 27 年度から大学関係者を入会対象とするクレジット機能付き大学カード（筑波大学校友会カード）事業を開始し、平成 29 年 1 月、「筑波大学校友会」が学外に設立されたことで、「筑波大学カード」に改称しました。本カードの最大の特徴は、大学近辺の商店や飲食店、全国展開の大型店、ホテル等約 300 の店舗・施設においてカードの提示により会員特典を受けられることです。

なお、三井住友カード株式会社からは、本カードの発行枚数及び、会員のカード利用額に応じた金額を定期的に筑波大学基金にご寄附いただいています。

筑波大学カード寄附額の推移（過去 5 年分）



（千円）

三井住友カード	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
発行枚数に基づく寄附	311	367	316	258	256
カード利用額に基づく寄附	3,151	3,724	4,189	4,296	4,185
合計	3,462	4,092	4,505	4,554	4,441

累計受付件数　令和 8 年 3 月末現在　9,191 件

寄附額

令和 7 年度内の筑波大学カード発行数に基づくあっせん手数料　255,750 円

令和 7 年度内の筑波大学カード利用額に基づく取扱手数料　4,185,166 円

○　キャッシュレス化推進を目的とした Olive カード

株式会社三井住友銀行との連携協定に基づき、学内におけるキャッシュレス化の推進を目的として「Olive」の新規受付を開始しました。

累計受付件数　令和 8 年 3 月末現在　265 件

○　スーツ事業

平成 28 年度から学生・教職員等の福利厚生のため、学生の入学時や就職活動等で必要となるスーツ等の割引販売を紳士服大手企業 4 社（AOKI、コナカ、洋服の青山、はるやま）と提携しました。本事業は、割引販売にかかる広報に大学が協力することにより、提携各社から商品販売価格の一部を手数料として納入いただくもので、受入金は学生支援等に充当する予定としています。

手数料額　令和 6 年度売上分に対し　1, 350,438 円（4 社合計）

○　自転車事業

学内で発生する放置自転車の減少を目指して、自転車事業を開始した。この事業は、大学公認自転車の新車販売（令和 4 年 6 月開始）と、学内で不要になった自転車を活用したサブスクリプション事業（月極レンタサイクル 令和 4 年 12 月開始）との 2 事業を展開しています。

公認自転車の販売については売上の 10%が寄附として入金されます。

事業実施会社：株式会社ＶＩＣＴＡＳ
事業運営会社：株式会社メイゲンソ
事業委託会社：サイクルシック（CYCLE CHIC）

公認自転車販売台数　7 台（寄附額:54,000 円×7 台×0.1＝37,800 円）

サブスクリプション自転車　648 台

○　ショッピングプラザ（サクラテラス）事業

学生及び教職員等の福利厚生、利便性の向上に資することを目的として、平成 30 年 10 月に筑波キャンパス南地区内にカスミ、サザコーヒーの 2 店舗を核とするショッピングプラザ（サクラテラス）をオープンしました。

カスミでは、本学の「つくば機能植物イノベーション研究センター（T-PIRC）」で生産されたお米やオリジナルワイン、煎餅の販売を行った。令和 5 年 3 月から、筑波大学公式オリジナルグッズの店頭販売を開始しました。

サザコーヒーでも、季節ごとのイベントや定期イベント、新商品の先行販売会等を実施しており、学内関係者や近隣住民の方々の憩いの場、交流の場として定着しつつあります。

事業期間　平成 30 年 4 月 4 日～令和 20 年 9 月 30 日

■　その他の寄附募集活動

○　有価証券による寄附

平成 30 年の税制改正により、個人からの株式等の寄附について非課税措置の手続きが簡便化されたことを踏まえ、令和元年 12 月に有価証券による寄附を受入れました。この寄附は、有価証券の配当金をもって本学教育研究の活動支援に使用するものであり、筑波大学基金内に新たに設けた「現物資産活用基金」として運営を行っています。また、令和 4 年 10 月 7 日に追加寄附を受入れました。

有価証券の受入れ拡大を目指し、外訪時における税制上の支援を強化するため、税理士及び公認会計士の資格を有する本学修了生と業務委託契約を締結しました。

令和 7 年度の受入実績　なし

○　株式会社 READYFOR との連携

・　**遺贈による寄附への対応**

令和 3 年 7 月から、株式会社 READYFOR が提供するサービス「READYFOR 遺贈寄附サポート」の利用を開始しました。これまでの三井住友銀行（相続アドバイザリー遺言信託業務）のサポートに加え、遺贈寄附の検討者に対する相談対応窓口を拡充しました。

令和 7 年度実績　　1 億円　　**受入件数**　　1 件

○　古本募金による寄附

古本募金については、現在学内に設置された古本回収ボックスによる寄附と集荷による寄附の 2 通りの方法で実施しています。

みつばち書店（学内古本回収ボックス）

寄附額　　令和 7 年度　86,730 円

株式会社バリューブックス（集荷による寄附）

寄附額　　令和 7 年度　256,849 円　　**受入件数**　　40 件

■　地域・社会との連携

○　学長を囲む会

平成 21 年から大学と地域を結びつけることを目的に「学長を囲む会」をスタートしました。

メンバー拡大に努め、研究成果や大学に関連する情報を発信し、地域との交流を深めました。会員数、参加者も増加し、毎回 100 名～150 名を集めて開催しています。

会員数　358 企業／団体（令和 8 年 6 月現在）

令和 7 年度の開催状況

第 1 回　日時　：令和 7（2025）年 6 月
　　場所　：大学会館
　　参加者数　：140 人
第 2 回　日時　：令和 7（2025）年 9 月
　　場所　：つくば国際会議場
　　参加者数　：122 人
第 3 回　日時　：令和 8（2026）年 1 月
　　場所　：大学会館
　　参加者数　：128 人

○　“筑波大学ビジネス交流会”「学長を囲む会」（海外開催分）

本学海外オフィスのリソース及び、同窓生のご協力等を活用し、海外の日系企業をターゲットとして“筑波大学ビジネス交流会”「学長を囲む会」 in（国名）と銘打ち、令和 6 年度より本格的に活動を開始しました。日本で開催するものに準じた形式としつつ、現地のニーズに応じたテーマやネットワーキング要素を取り入れることで、現地関係者との結びつきを強化しています。

令和 7 年 7 月 3 日　インド（グルガオン）：参加者 36 名

令和 7 年 9 月 1 日　マレーシア（クアラルンプール）：参加者 57 名

令和 8 年 2 月 27 日　台湾（台北）：参加者 22 名

今後も、本学の国際的な発信力とネットワークを活かした海外展開を推進していく予定です。

○　アソシエイトに関する取組

本学では、現金による寄附だけでなく、「時間」や「労力」といった形で大学を支援するボランティア活動も、重要な“貢献”と捉えています。

その一環として、大学では公認ボランティア制度「アソシエイト」を設けており、教職員・学生・卒業生・地域住民等が、教育研究サポート・行事運営・業務補助など様々な場面で大学を支えるしくみを整えています。

【近年の実績】　2025 年度：89 名
2024 年度：75 名
2023 年度：57 名

■　寄附者への謝意表明

○　寄附者への感謝の集い

平成 30 年度から、寄附者への感謝の意を表するとともに、寄附者と大学との交流を促進し、繋がりを強化する機会として、寄附者への感謝の集い「TSUKUBA FUTURESHIP CREW’S MEETING」を開催してきました。令和 7 年度は、個人で 3 万円から 5 万円未満の一般寄附者に対して、筑波大学農場栽培米及び基金活動報告書を、個人 5 万円以上、法人 10 万円以上の一般寄附者に対しては、筑波大学公式フェイスタオルセット及び基金活動報告書を、対象となる 111 名に送付しました。

また、過去 5 年間で累計 1,000 万円以上の寄附をいただいた高額寄附者に対しては、「TSUKUBA FUTURESHIP CREW’S MEETING for SPECIAL」を対面形式で開催しました。

■　卒業生との連携

○　ホームカミングデーの実施

例年、卒業生同士で旧交を温め、大学との関係も深めていただく目的で、学園祭の期間中に卒業生を大学に招待するホームカミングデーを開催しています。

令和 7 年度（第 28 回）ホームカミングデー　開催概要

開催日・場所	令和 7 年 11 月 2 日（日）　筑波大学 中央体育館
参加者数	約 420 人
実施内容	卒業生の思い出写真の公開、大学にまつわるクイズ大会などの企画を実施

○　SNS による情報発信・連携強化

本学と卒業生・修了生、在学生、保護者、元教職員、教職員、課外活動団体及び各同窓会といった本学関係者との連携強化を目的として、平成 24 年 4 月から SNS を運用しています。

登録状況（令和 8 年 4 月末現在）

サービス名称（ターゲット層）	
生涯メールアドレス（卒業生向け）	登録者数：約 45,000 人
LINE（保護者向け）	登録者数：約 13,000 人
X（旧 Twitter）（一般向け）	フォロワー数：約 5,200 人
Facebook（一般向け）	フォロワー数：約 460 人
Instagram（一般向け）	フォロワー数：約 600 人

○　茗渓会

明治 15 年 4 月 29 日 当時の東京師範学校卒業生によって設立され､平成 24 年 4 月から一般社団法人茗渓会として活動しており、本学の開学当初から、多くの支援をいただいています。

また、平成 30 年 4 月に「茗渓・筑波産業人倶楽部」を発足させ、本学卒業生の産業人を中心したネットワークの構築と本学学生に対する支援を開始しました。

同会の目的として、次の 3 点を掲げています。

（1）会員相互の親睦及び互助並びに知徳の啓発を図る
（2）国立大学法人筑波大学の目的及び使命の達成に協力する
（3）学術、文化、教育並びに社会貢献活動及び国際相互理解の促進に資する

会員数　　約 55,000 名

茗渓会からのご支援

茗渓・筑波産業人クラブの支援によるキャリアカフェを開催しました。
ホームカミングデーへの支援 100,000 円

○　筑波みらいの会

「筑波みらいの会」とは、平成 24 年度に立ち上げられた「筑波大学出身経営者の会（仮称）」が、平成 25 年 5 月の総会において正式に発足したものです。令和 7 年度は、11 月開催のホームカミングデーへの支援をいただきました。

同会は設立意義として次の 3 点を掲げています。

（1）会員同士が連携・交流すること
（2）会員から大学及び学生に対して貢献・支援・連携すること
（3）大学の成果・情報を会員に提供すること

筑波みらいの会からのご支援：ホームカミングデーへの支援 100,000 円

○　筑波大学校友会

筑波大学校友会（会長：江崎玲於奈）は、筑波大学の卒業生・修了生、在学生及び教職員等を構成員として、平成 29 年 1 月に設立されました。令和 4 年度は、ホームカミングデーへの支援、学群卒業生への学位記収納ホルダの賛助、校友会江崎賞の授与の他、学生のキャリア形成に繋がる交流事業へもご協力いただきました。

同会の実施事業については、次の 3 点を掲げています。

（1）会員相互の交流と親睦に寄与する事業
（2）筑波大学との連携及び協力を推進する事業
（3）その他本会の目的を達成するために必要な事業

会員数　　1,524 名（令和 7 年 3 月現在）

校友会からのご支援：

- ホームカミングデーへの支援　100,000 円
- 学位記ホルダ　学群生用：300,000 円相当
- 校友会江崎賞　学群/学類/学位プログラム等から 62 人 賞状及び副賞：152,000 円相当
- FUTURE 基金奨学金のための寄附：10,000,000 円

○　KUTTUKUba

令和 8 年 2 月 20 日夕方、筑波大学東京キャンパスにて、第一回 KUTTUKUba を開催しました。KUTTUKUba とは文字通り、筑波大学の現役学生と卒業生が"くっつく場"。今回は起業をテーマに、現役学生起業家と OBOG の起業家、経営者ら 100 名を超える方々が交流を深めました。

永田 恭介 学長のキーノートスピーチでは、本学学生や教員のベンチャー数の多さが全国トップクラスであることや、大学が起業支援や産学連携のために準備している様々なプログラムが紹介され、「あなたの夢を筑波大学とともに実現しませんか」と呼びかけました。



（参加者の声）

- 自分の時代にはなかった現役生の起業マインドに感銘を受けた（卒業生）
- 上映された学生宿舎の映像に自分の原点を思い出した（卒業生）
- 学生には難しい「toB」向けのアドバイスを得ることができた（現役生）
- インターンシップなどについて OB と直接話すことができた（現役生）
- 大学の法被を着て出迎えてくれた教職員のホスピタリティが嬉しかった（卒業生）
- 同窓会とは違う新しいネットワーキングの場　今後も参加したい（卒業生）